

立命館大学における「物理駆け込み寺」の取り組み紹介

Introduction of [Butsuri Kakekomi Dera] at Ritsumeikan University

山下貴弘（ソニー）、森本朗裕（立命館大理工）、
俵口忠功（立命館大理工）、濱地賢太郎（立命館大理工）

SONY Co. Yamashita Takahiro

Ritsumeikan Univ., Akihiro Morimoto, Tadanori Hyooguchi, Kentaro Hamachi

E-mail: yamashita.hawk@gmail.com

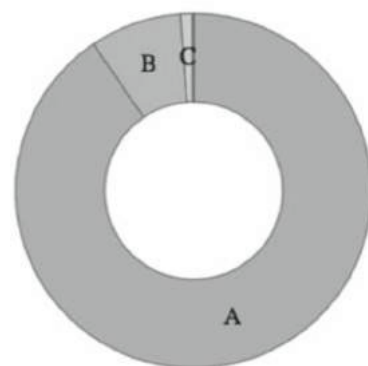
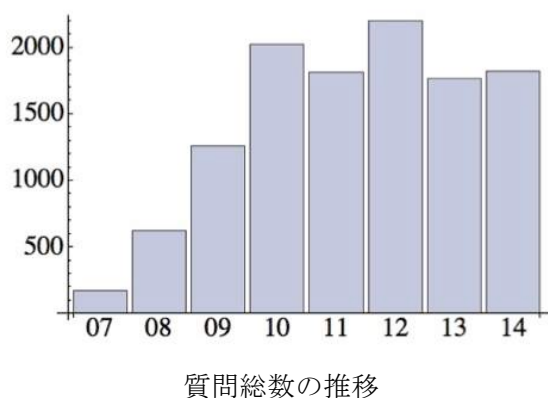
立命館大学の理工学部は、学生が共に学ぶ質問相談所「物理駆け込み寺」を運営しています。

- ① 年間の質問受付総数約 2000 件
- ② 利用学生の満足度 90%以上（アンケート回答率ほぼ 100%）
- ③ 学年・学部の垣根なく学生同士が学び合う、ピアエデュケーション
- ④ 高校物理未履修者から研究者志望者まで幅広い学生に応じた、テラーメイド教育
- ⑤ 西園寺奨学生（成績優秀者）のさらなる教育の場
- ⑥ 参加学生が成長し学生講師となって新たに後輩をサポートする、学びの循環

など、現在様々なユニークな活動を展開し、理系教育の充実に大きく貢献しております。

しかしながら、元々は若手研究者による自主ゼミサポートから草の根的に始まった団体で、開設当初は、予算や活動場所の確保、参加学生の呼び込みや他部署との連携など、様々な問題を抱えていました。そのような中、学部の教員の方の支えのもと様々な取り組みに挑戦し、紆余曲折を経て、現在の活動へとどり着きました。

本発表では、駆け込み寺の立ち上げ期に学生スタッフの代表として活動し、現在はエンジニアとして働いている卒業生が、その取り組みを振り返り、これからの大学教育のあり方についてみなさんと考えたいと考えています。



2015 年度前期利用者満足度
(A:good ~ D:bad)